

自己点検・評価報告書

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大妻女子大学大学

平成 30 年 3 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 大妻女子大学動物実験等管理規程 大妻女子大学動物実験等管理規程実施細則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 大妻女子大学動物実験委員会と家政学部動物実験委員会を、1つの委員会での審議による審議内容の継続性の確保及び諸手続きの簡素化を目的として、全学的な動物実験委員会に集約すること。 実施細則を委員会規程と施設管理規程に分け、規程の目的を明確化すること。 緊急時の対応をマニュアル化すること。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成30年4月1日付施行で大妻女子大学動物飼育室及び動物実験室緊急時対応マニュアルが策定された。 平成30年4月1日付施行で大妻女子大学動物実験等管理規程及び大妻女子大学動物実験等管理規程実施細則(改定により大妻女子大学動物実験委員会規程と改題。)の改定並びに大妻女子大学動物実験施設管理規程が制定された。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 大妻女子大学動物実験等管理規程、大妻女子大学動物実験等管理規程実施細則 大妻女子大学動物実験委員会名簿、大妻女子大学家政学部動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 大妻女子大学動物実験委員会と家政学部動物実験委員会を、1つの委員会での審議による審議内容の継続性の確保及び諸手続きの簡素化を目的として、全学的な動物実験委員会に集約すること。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成30年4月1日付施行で大妻女子大学動物実験等管理規程が改訂された。

### 3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 大妻女子大学動物実験等管理規程、大妻女子大学動物実験等管理規程実施細則 動物実験計画書 動物実験終了報告書、動物実験委員会メール議事録、家政学部動物実験委員会メール議事録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 動物実験規程が適正に定められている。永年継続されている問題のない実験計画については委員会委員のメール審議により迅速承認されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 大妻女子大学動物実験等管理規程、大妻女子大学動物実験等管理規程実施細則 大妻女子大学遺伝子組換え実験安全管理規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 緊急時の対応をマニュアル化すること。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成 30 年 4 月 1 日付施行で緊急時対応マニュアルが制定された。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程、大妻女子大学動物実験等管理規程実施細則  
大妻女子大学動物実験マニュアル

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

機関内規程に基づき飼養保管施設・実験室を把握し、各施設に管理者を置いている。  
飼養保管施設・実験室は全て常時施錠されている。  
外部評価時の指摘事項が動物実験マニュアルに反映されていないこと。

4) 改善の方針、達成予定時期

平成 30 年 4 月 1 日付施行で大妻女子大学動物実験等管理規程、動物実験マニュアルが改訂された。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

該当せず。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 大妻女子大学動物実験等管理規程、大妻女子大学動物実験等管理規程実施細則 平成 29 年度家政学部動物実験委員会活動報告
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 機関内規程に基づき、委員会の役割を果たしている。 動物実験計画書審査の過程 (コメント等) がメール議事録に記録されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

### 2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書 動物実験終了報告書 平成 29 年度家政学部動物実験委員会活動報告
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 大妻女子大学動物実験等管理規程 動物実験計画書 動物実験終了報告書 大妻女子大学遺伝子組換え実験安全管理規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 安全管理が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 大妻女子大学動物実験等管理規程 大妻女子大学動物実験マニュアル
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 飼育保管が適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 各施設の立ち入り調査記録写真
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 適正に維持管理されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 大妻女子大学動物実験等管理規程 教育訓練実施報告 教育訓練に用いた資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 機関内規程に基づき、適正に実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

## 自己点検・評価報告書

### 7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 大妻女子大学ホームページ 動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 自己点検・評価について情報公開がなされている。 <a href="http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/academy/disclosure/animal.html">http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/academy/disclosure/animal.html</a>
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

### 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

1) 大妻女子大学における動物実験の実施における自己点検・評価に関する報告書の集計について 別紙1のとおり
2) 動物種ごとの飼養数の集計について 別紙2のとおり



動物実験の実施における自己点検・評価に関する報告書集計（平成 29 年度）					
部局名	動物実験計画書審査のまとめ		動物実験従事者及び飼養者数	飼養保管施設の設置状況	飼養保管施設から独立した実験室
	許可件数	不許可・取り下げ件数			
食物学科	15	0	18	2	1
合計	15	0	18	2	1

動物種ごとの飼養数

平成29年度動物実験許可数（終了および実施中を含む）

所属	動物種	使用数
食物学科(含 大学院)	ラット	150
	マウス	502
計	ラット マウス	652